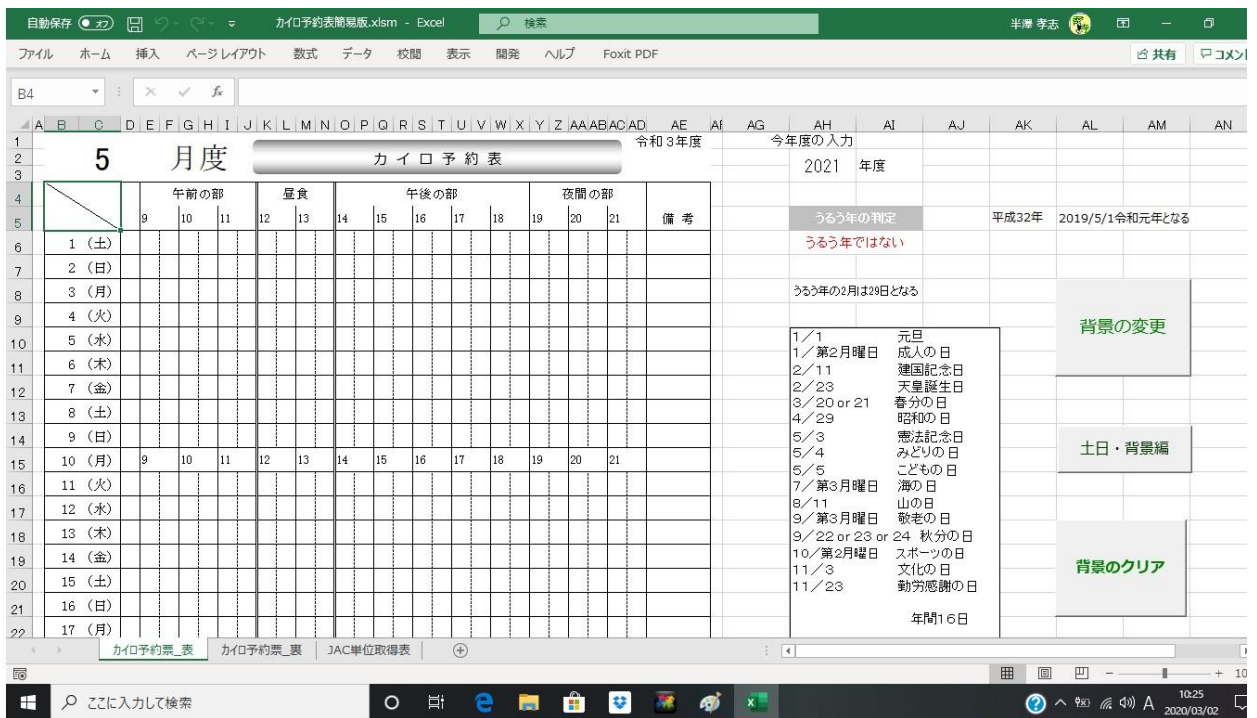


# 備忘録 EXCEL マクロの作成編

業務で予約票を作って受付履歴を取っている。カレンダーソフトを利用して、二月などは、うるう年の判定など年と月を入れるだけでひと月分の記録ページが作成できて便利に使えている。

毎年の始めに作るのですが、木曜日や年末年始の休みを薄い背景色を設定して使っています。今回、それも自動化してしまおうと作ったのがマクロというプログラミングである。

**※概要** 下の予約票の印刷外の欄に、背景の変更、土日編、クリアという3種のボタンを作り、それを押すことで背景を作り直そうとしたものです。



**土日・背景編というボタンを押した場合の例。概要図とマクロの例を記録する。**



```

Sub 土日背景の設定()
'          カイロ予約票の作成          木、土、日曜日の背景をセットする
'
'                                     その他の曜日は、白に戻す

Dim i, j, m
Dim wsheet

For m = 1 To 2
wsheet = Sheets(m).Name          ' "カイロ予約票_表" "カイロ予約票_裏"
Worksheets(wsheet).Activate

For i = 6 To 36

    With Sheets(wsheet)
        .Cells(i, 2).Font.Color = RGB(0, 0, 0)          ' Black
        .Cells(i, 3).Font.Color = RGB(0, 0, 0)

        If .Cells(i, 3).Value = "(木)" Then

            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 31)).Interior.Color = RGB(220, 220, 220)          ' gainsboro

        ElseIf .Cells(i, 3).Value = "(土)" Then

            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 3)).Font.Color = RGB(0, 0, 128)          ' Navy
            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 3)).Interior.Color = RGB(224, 255, 255)          ' Light cyan
            .Range(Cells(i, 4), Cells(i, 31)).Interior.Color = RGB(255, 255, 255)          ' white

        ElseIf .Cells(i, 3).Value = "(日)" Then

            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 3)).Font.Color = RGB(255, 0, 0)          ' Red
            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 3)).Interior.Color = RGB(255, 192, 203)          ' Pink
            .Range(Cells(i, 4), Cells(i, 31)).Interior.Color = RGB(255, 255, 255)          ' white

        Else

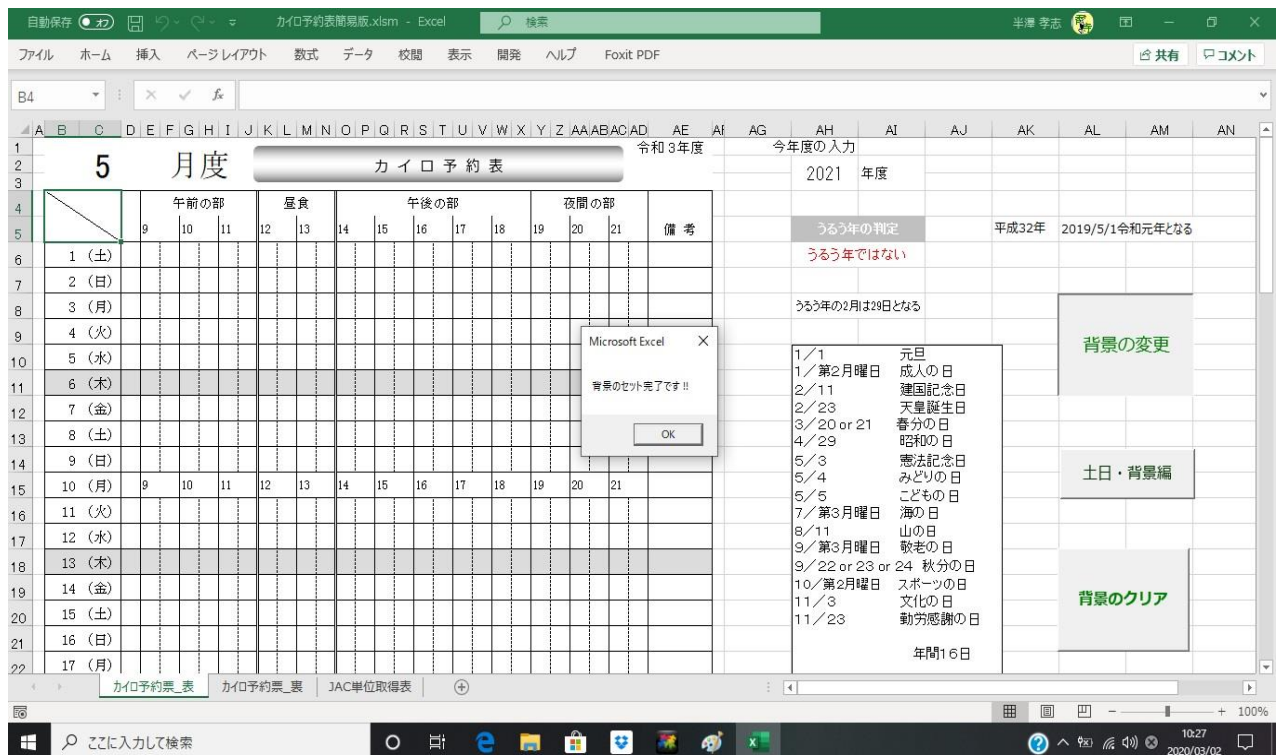
            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 31)).Interior.Color = RGB(255, 255, 255)          ' white

        End If
    End With
Next

MsgBox "土日・背景のセット完了です !!"
End Sub

```

※背景の変更ボタンを押した場合 木曜日だけの背景で以下ようになる。



※背景のクリアボタンを押したときに使われるマクロ例。

Sub 背景のクリア()

    予約票の背景をリセットする

Dim i, j, m

Dim wsheet

For m = 1 To 2

    wsheet = Sheets(m).Name                    ' "カイロ予約票\_表" "カイロ予約票\_裏"

    Worksheets(wsheet).Activate

    For i = 6 To 36

        With Sheets(wsheet)

            .Cells(i, 2).Font.Color = RGB(0, 0, 0)

            .Cells(i, 3).Font.Color = RGB(0, 0, 0)

            .Range(Cells(i, 2), Cells(i, 31)).Interior.Color = RGB(255, 255, 255)

        End With

    Next

Next

MsgBox "背景のリセット完了です!!"

End Sub

※考察

年に一度だけの利用には、、、もったいないくらい便利になった感がある。

## 1. 準備

EXCEL ヘッダー部のバーから ファイル オプション トラストセンター マクロの設定を選ぶ  
警告を表示してすべてのマクロを無効にするという項目は選ばれたままにして、下の  
VBA プロジェクト オブジェクトモデルへのアクセスを信頼するという項目をチェックする。  
すると、EXCEL の編集バーに開発という環境が準備される。

## 2. マクロの作成

EXCEL の編集バーの 開発 左のほうにある マクロを選ぶ 名前を付けて 作成を選ぶと開始  
二度目からは 編集で開始すると続けて作業ができる。

実感なのだが、編集エリアでは、置換などが難しく メモ帳などに切り取って 編集後 張り付け  
で対応した。

## 3. ボタンの作成

EXCEL の編集バーの 開発 挿入 フォームコントロールのボタン(左上の四角い箱)を選ぶ  
どのマクロを走らせるのかを設定して EXCEL 編集画面に戻り 余白にボタンを置く  
ボタンを右クリックして 名前の変更などして使いやすくする。

## 4. 保存

変更した場合、名前を付けて保存を選び、属性を「マクロ有効ブック」として保存する。

## 5. その他

マクロのプログラミングは、ビジュアルベーシック (VBA) と呼ばれるもので文法が作られる。  
特に変わったところは、今回の作業に限ってであるが、

```
IF A = “日” Then 処理
```

```
Else IF A = “土” Then 処理
```

 ではエラーとなり ElseIf という文法を覚えた。

```
Else
```

```
    処理
```

```
End If
```

また、Then という定義を次の行に持っていくと、エラーになる。

限られた内容だからまだまだ見えていないところが多いかもしれない。 今後の為に記録する。